

予算

問い合わせ先

財政課
☎248-1667
上下水道課
☎248-1232

平成23年度の本市の予算が、平成23年第1回定例会で議決されました。その予算概要をお知らせします。

	予算額	前年度比
一般会計	166億6,300万円	+8.6%
特別会計	110億5,790万円	+4.4%
合計	277億2,090万円	+6.9%

特別会計の額は、5会計の合計です。

第2期基本計画の実現に向けて

本年度は、第1次基本構想に掲げた「未来輝く産業・定住拠点都市」作りに向け、平成27年度までの5カ年計画「第2期基本計画」がスタートします。この計画では、引き続き「人と自然を大切にした協働によるまちづくり」を基本理念とし、「子育て支援日本一のまちづくり」と「健康都市こうし」の考え方を各施策に盛り込んで推進していきます。

本年度の経営方針では、「計画的な土地利用の推進」と「財政改革の推進」を最重点施策としています。23年度予算では、重点施策とあわせて、予算の配分を行なうなど効果的な施策の推進を図ることとしています。

その結果一般会計の総額は166億6,300万円、特別会計110億5,790万円となりました。

一般会計は前年度より増額

本年度の一般会計予算は、前年度当初予算と比較して、13億2,300万円、8.6%の増となりました。

これは、22年度が市長選挙により政策的な予算を当初予算に計上していなかったもので、平成22年6月補正後の予算額と比較すると、約3億6,000万円、2.2%の増となります。(グラフ1参照)

一般会計歳入

一般会計歳入予算のうち自主財源である市税は50億6,139万3千円、前年度比1億336万4千円、2.1%の増を見込んでいます。これは法人市民税や固定資産税の増を見込んでいます。依存財源のうち地方交付税は、22年度の国勢調査による人口増加などに伴い、普通交付税の増を見込んで計上しています。借入金である市債については、22年度当初予算に比べ55.8%増の18億9,470万円としており、23年度末の市債見込み高は、174億4,064万9千円と見込んでいます。一般会計の市債総額を市民一人当たりで換算すると313,286円になります。(グラフ2、6ページ市債の状況参照)

一般会計歳出

歳出予算を性質別に見ますと、義務的経費は89億9,698万3千円です。予算に占める割合は54.0%で、前年度当初予算に比べ2.6%、2億2,913万8千円の増となっています。このうち扶助費の伸びが著しく、前年度当初予算に比べ6.1%、2億6,147万円の増となっております。これは「子ども手当」「生活扶助」などの増が主なものです。

一方、投資的経費は19億5,521万1千円となっております。予算に占める割合は11.7%、前年度当初予算に比べ81.9%、8億8,010万6千円の増となっております。これは前年度予算が骨格予算であったため政策的予算の留保によるものや、給食センター建替事業の増が主なものです。(グラフ3・4参照) 主な事業は、6ページの表1のとおりです。

特別会計は約4億6,000万円の増

市の会計には、一般会計のほかに5つの特別会計があります。それぞれの予算額は、7ページの表2のとおりです。

特別会計の合計額は110億5,790万円で、4億6,526万5千円、4.4%の増となりました。主に国民健康保険特別会計の2億4,460万9千円の増によるものです。

